



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第28号 (H23.1.11)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

しつ じつ ごう けん  
質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



卯年



2011年の新たなるスタート

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

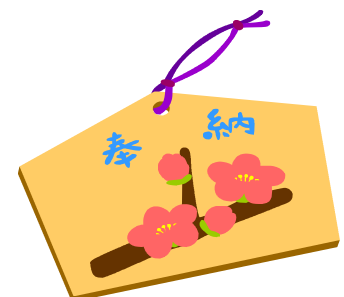
穏やかな新年を迎えました。ご家族の皆様におかれましては、お子さんと一緒に新たな気持ちで、2011年のスタートができたことと、お喜び申し上げます。

昨年は本校教育活動に、ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。今日から始まった3学期は、今年度を締めくくる大切な学期です。マナー、ルールを守り、仲間とともに良き思い出をつくってほしいと思います。日々の生活も大切です。各自しっかり自分の目標を持ち、学習に、部活動に思う存分、自分の力を発揮してください。

さて、毎年正月には各種のスポーツ大会があります。その多くがテレビで中継されています。中でも人気の高いものの一つに東京箱根間往復大学駅伝競走があります。私は今年も相当の時間を費やしてテレビに見入ってしまいました。今回は、総合で早稲田大学が優勝しました。大学生が母校の名誉をかけて懸命にタスキをつなぐ姿はいつ見ても、ドラマがあり感動があります。毎年、アナウンサーが学校、選手、大会関係者などエピソードを紹介します。ついつい聞き入ってしまいます。何年か前のアナウンサーが紹介した中で、今も記憶に残っているエピソードがあります。それは、「選手は、小学校の時に箱根駅伝を見て、大学駅伝で箱根を走りたいという夢をもち、その夢が実現して……」「1位の選手を先導している神奈川県警交通機動隊の

警部も、子どものころに駅伝のテレビ中継を見て白バイ箱根駅伝を先導したいという夢をもち、今日叶えたということです。……」という話です。同じテレビを見ながら夢を膨らませる小中学生がいる。ある子は選手として、ある子は白バイでの先導、他にも……。一つのテレビ中継から子どもの将来を左右するような夢が、それぞれの個性に合わせて膨らむ。素晴らしいことだと思います。箱根駅伝出場までには険しい道のりがあり、ドラマがあるからこそ、見る人をより感動させ、夢を持たせるほどの魅力ある競技になっているのだと思います。

夢を持っている子どもは、生活に芯が通り、けじめができるものです。夢実現のために目標を立て、その目標達成のために計画を立てることは大切なことです。「1年の計は元旦にあり、1年の計は朝(あした)にあり」といいますが、新年を迎えた今、新しい目標を掲げ、計画を立て、新しい抱負と決意を持って実行して欲しいと思います。



## 国語力検定試験の結果が出ました！

国語力検定は、「読む力」「書くための力」「聞く力」「話すための力」「総合的国語力」の5つの力に分けて国語の「能力を客観的に測る、2007年にスタートした検定です。この国語力検定の最終目的は、＜読む生徒を作ること＞です。しかし、ただ読むだけでは、自分の国語力がどのくらいのものかが、よくわかりません。そこで、読書によって身につけた国語力を客観的に測ろうというのが国語力検定です。ですから、この国語力検定は、単なるランキング用でもなければ、学校受験用でもありません。生徒自身の読書力の伸び方を測るものです。

また、国語力があることの証明として、国語力検定の級取得が、大学の入試において評価の対象の一つになります。例えば、早稲田大学、慶応義塾大学、明治大学、東京女子大学、関西大学、同志社大学などです。

	受験者数	総合得点平均	知識得点	理解平均	読む力(率)	書く力(率)	話す力(率)	総合的国語力
附属中	40	186.8	93.9	92.9	60.2	69.0	66.7	61.7
全国中1	1022	148.3	75.1	73.2	47.5	56.7	57.3	50.6

「認定級」について：総合得点が該当の点数以上でも5つの力のそれぞれが下記の条件に満たさない場合は、1つ下の級になります。

特級... 270点以上かつ90%以上...大学生～社会人レベル

1級... 240点以上かつ80%以上...高校2～3年生レベル

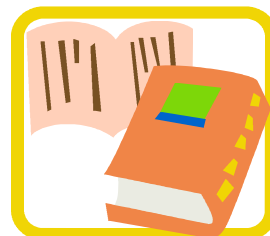
2級... 210点以上かつ70%以上...中学3～高校1レベル

3級... 180点以上かつ60%以上...中学1～中学2レベル

4級... 150点以上かつ50%以上...中学新入生レベル

5級... 150点未満

総合的に本校は、全国の中学校1年生よりかなり平均点が高いです。しかし、各自の結果を見ると「まだまだ不十分です」というメッセージが多い生徒もいるようです。自己の成績表をしっかりと確認して、読書の仕方を再度検討して見てください。



## 食 事 に つ い て

さて、皆さんは道場六三郎さんという料理人をご存じだと思います。道場さんは、長崎新聞に次のようなことを書かれていました。「戦後の空腹時代からすると、現代はファーストフード店やコンビニなどで大変便利になった。しかし、豊かになったのは形だけだ。」と、さらに「本当の幸せは、足元にある小さなものじゃないかな。自分の子どもをじっくり見てやらなくては.....。」とも。

では、「足元を見つめる」とは、どういうことなのでしょう。恐らく道場さんは、三度の食事や睡眠時間を確保する。こつこつと学習する、時間を守る、家族での団らん

の時間をつくるなど、今まで家庭で当たり前にしてきたことができない時代が変わったことを心配されているのではないのでしょうか。特に、道場さんは料理人ですから、食事が人に与える影響について考えていらっしゃるのだと思います。食事は空腹を満たすだけでなく、家族とは、感謝とは、心を通わすとは等々、これらはすべて生活の基本であると考えます。「食が人をつくる」、幸せの基本は食にあると言っても過言ではないと思います。もう一度、家族団らんの中での食事の大切さを考えてみてください。

